

## 今議会で採択された意見書及び決議

### ■私学助成の拡充を求める意見書（要旨）

岡山県では、昨年4月から私学助成制度を改変し、生徒数の減少した学校や過疎地域の学校は大きく減額されるようになった。また、昨年発表の「岡山県財政構造改革プラン」による私学助成のさらなる削減が平成24年度まで続き、県内の私学は厳しい事態を迎えることになる。

私学振興の責務を果たすため、「私立学校振興助成法」と「経常費の二分の一補助の早期実現を求める国会決議」に基づき、来年度予算において国庫補助の堅持ならびに私学助成の充実を図り、私学の教育条件の向上、父母負担の軽減に努めることが必要である。

教育における私学の果たす役割にかんがみ、私学助成の一層の充実を図られるよう要請する。

### ■私学助成の拡充ならびに岡山県私学助成制度の激変緩和措置の見直しについての意見書（要旨）

国は私学に通う高校生のある世帯に対して、学費軽減の施策を策定し始めている。国が県に交付する「高等学校授業料減免事業等支援臨時特例交付金」がその一つであるが、岡山県では国が意図したような抜本的な施策とはならず、現行制度内での経費増の補てんにとどまるとの方向と聞いている。

私学助成の充実で父母負担の軽減を図り、公私格差の解消を

目指すことは、父母・県民の切実な願いである。地域の教育に果たしてきた私学教育の役割は大きなものがあり、学園の存続・発展は、卒業生のみならず多くの父母・県民の願いでもある。私学助成を削減するのではなく、逆に一層の充実を図られるよう要請する。

### ■天皇陛下御即位20年に関する賀詞決議

天皇陛下におかせられましては、平成2年の「即位の礼」より、本年11月12日に満20年をお迎えられますことは岡山市民ひとしく慶賀にたえないところであります。

天皇陛下御即位20年をことほぎ、ここに岡山市議会は市民を代表し謹んで慶賀の誠を表します。

## 個人質問 26人が行った質問の要旨

### まちづくり・安全安心

#### 岡山操車場跡地整備

**問** 操車場跡地整備の方向性と計画策定時期は。

**答** 操車場跡地は、都市ビジョンに掲げた都市像「水と緑の庭園都市」のシンボルとなるような総合公園とし、総合福祉の拠点にしたい。平時は市民が憩い、交流できる場となり、災害時は市民の安全を確保し、救援活動の拠点となる防災機能も備えたものを目指したい。

また、健康・福祉の都市機能集積を考えており、その具体的な内容は今後検討したい。

平成21年度中にはその機能や性格等を含む活用の方角性を示し、議会や市民と議論を開始したい。



今年度中に整備の方角性の議論を開始 ～岡山操車場跡地～

#### 自転車利用実態調査 21年度中に実施

**問** 自転車利用を促進するため自転車利用の実態を調査し、郊外へ向けたネットワークを整備するべきでは。

**答** 岡山市都市交通戦略(素案)では、自転車政策を大きな柱の一つに掲げている。中心市街地

・周辺部を問わず、JRの駅と主なバス停留所、加えて表町や岡山駅周辺の商店街での実態調査を平成21年度中に行う。

この調査結果を踏まえ、駐輪場設置や自転車道・自転車レーンの整備など、一体的な自転車走行環境整備に引き続き努めたい。